

ちえりとチェリー



脚本が、驚くほど非常によくできている。
大変ヒューマンな作品で、
子ども達も気に入ってくれるだろう。
これは重要なことだ。

ユージ・ノルシュテイン / 『霧の中のハリネズミ』『話の話』監督

被災地の復興を願う想いを込めてつくられた感動のオリジナル長編アニメーション

大好きな父親を亡くし喪失感を抱えた少女ちえりがいのちの輝きに触れ、新たな未来に向けて一歩踏み出そうとする姿を描いた冒険ファンタジー。少女がちよっぴり大人になる心の軌跡をファンタスティックで美しい映像で魅せるパペットアニメーションの傑作が誕生した！声の出演には、主人公“ちえり”役に声優として豊富なキャリアを持つ高森奈津美、ちえりが蔵で見つけたぬいぐるみでちえりの空想中、助言者として彼女に寄り添う“チェリー”役に星野源、母親役に尾野真千子、ほか栗田貫一やサンドウィッチマンの伊達みきお、富澤たけしといった錚々たるメンバーが顔を揃える。

“チェリー”のキャラクターデザインをパペットアニメの最高傑作『ミトン』やオリジナル版『チェブラーシカ』の生みの親でもある、ロシアアニメ界の巨匠、レオニード・シュワルツマンが担当、新たな愛すべきキャラクターを作り上げた。



原画:レオニード・シュワルツマン

www.chieriandcherry.com



STORY

ちえりは小学6年生の女の子。幼い頃に父を亡くし、母親と二人暮らし。母親は毎日仕事に忙しく、なかなかちえりの話し相手ができない。そんなちえりの唯一の友人が、父の葬儀の時に蔵で見つけたぬいぐるみの“チェリー”だった。チェリーはちえりの空想の中では父親の代わりにちえりと話し、遊び、助言し、守ってきた。ある日、ちえりは、父親の法事のため、久しぶりに祖母の家に行ってくる。そこでちえりを待ち受けていた事とは……。空想と現実の狭間で、不思議な冒険が始まる！



『ちえりとチェリー』は、とてもキラキラした作品です。人にはそれぞれ「絶対になくならない、変わらない」宝物があると思うんです。ちえりと一緒に皆さんの中にある宝物を感じていただけたら嬉しいです。

(ちえり役) 高森 奈津美



『ちえりとチェリー』は、もう既に忘れてしまっていた幼い自分と、その頃見ていた景色、現実と空想を同時に映したようなあの景色を思い出させてくれました。

(チェリー役) 星野 源



キャスト(声の出演): 高森奈津美、星野源、尾野真千子、栗田貫一、田中敦子
伊達みきお(サンドウィッチマン)、富澤たけし(サンドウィッチマン)、和希沙也、北川里奈、佐武宇綺(9nine)、谷育子、花村さやか(ほか)
原作・監督: 中村誠 脚本: 島田満、中村誠 キャラクターデザイン: レオニード・シュワルツマン、伊部由起子 音楽: 大谷幸
主題歌: Salyu「青空」(作詞&作曲 桜井和寿 編曲 小林武史) (Courtesy of OORONG-SHA MUSIC PUBLISHER)
エグゼクティブ・プロデューサー: 及川武、芝修一、高木勝裕、依田巽
プロデューサー: 小野昌司、岩崎卓、東伊里弥、百武弘二 アソシエイトプロデューサー: 安藤千洋
製作: 「ちえりとチェリー」製作委員会(株式会社フロンティアワークス、東映アニメーション株式会社、ギャガ株式会社) ©「ちえりとチェリー」製作委員会

